

◆ 今週のコメント

- ・ 手足口病の定点当たり報告数は2.31(97例)で、前週1.26(53例)の1.8倍となり、2週連続で増加しています。
- ・ 流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は0.90で、過去5年間の同時期(第28週)の報告数を大きく上回っています。

◆ 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

- ・ 京都市の定点当たり報告数は2.64(111例)となり、第22週からの急速な伸びはやや収まったものの、本年度最も多い報告数となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 8例(肺結核 6例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 188例(肺結核 103例, その他結核 39例, 潜在性結核感染者 46例)うち喀痰塗抹陽性 46例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.43	228
	② ヘルパンギーナ	2.64	111
	③ 手足口病	2.31	97
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.40	59
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.90	38
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

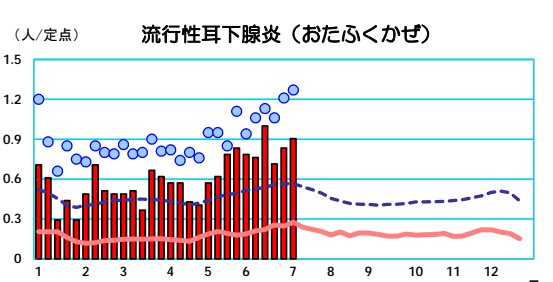
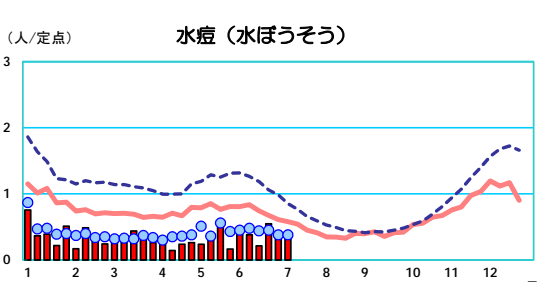
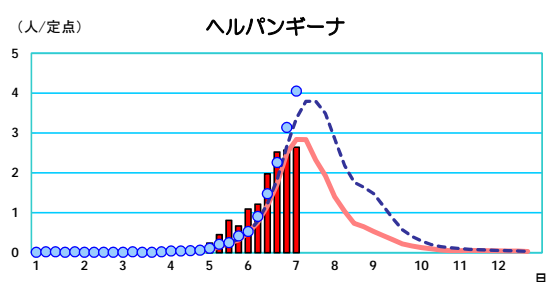
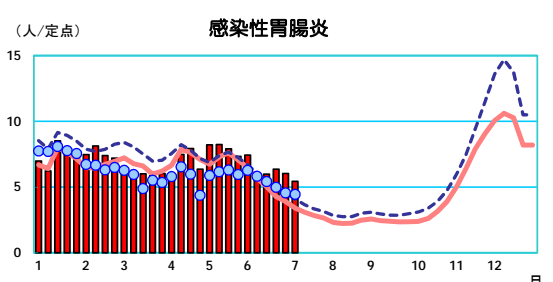
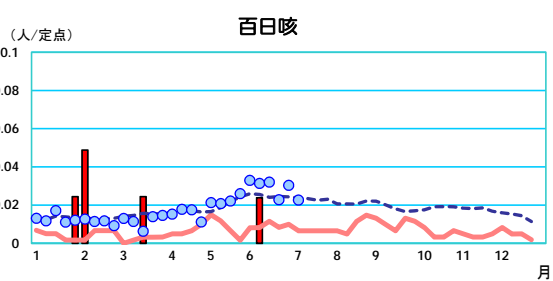
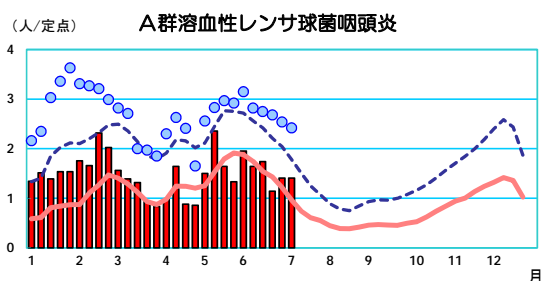
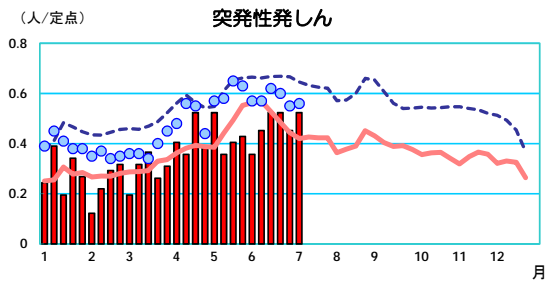
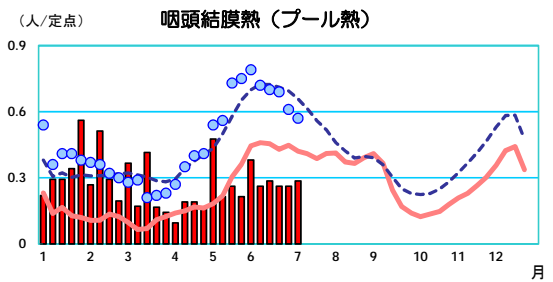
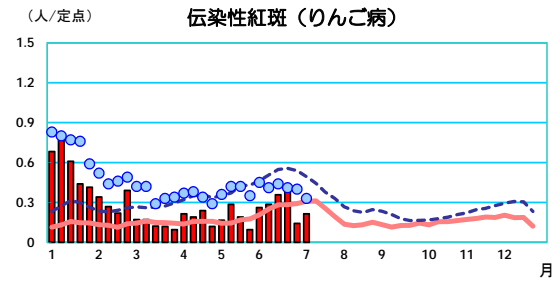
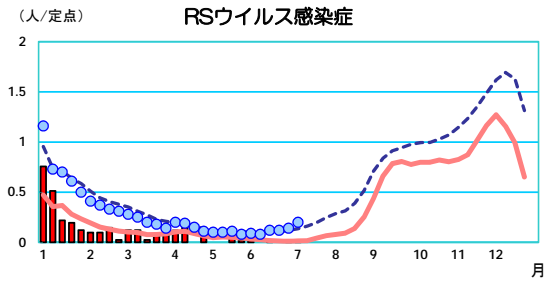
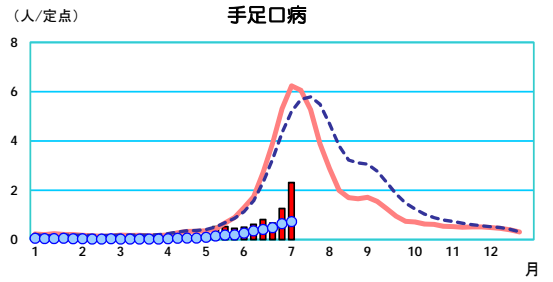
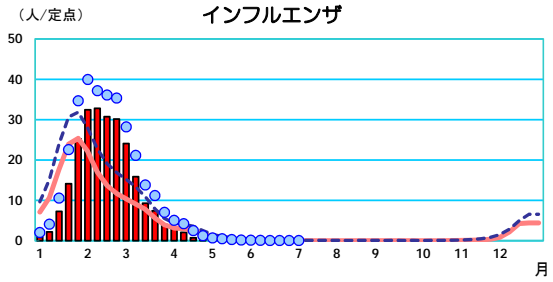
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年7月20日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

ヘルパンギーナ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）

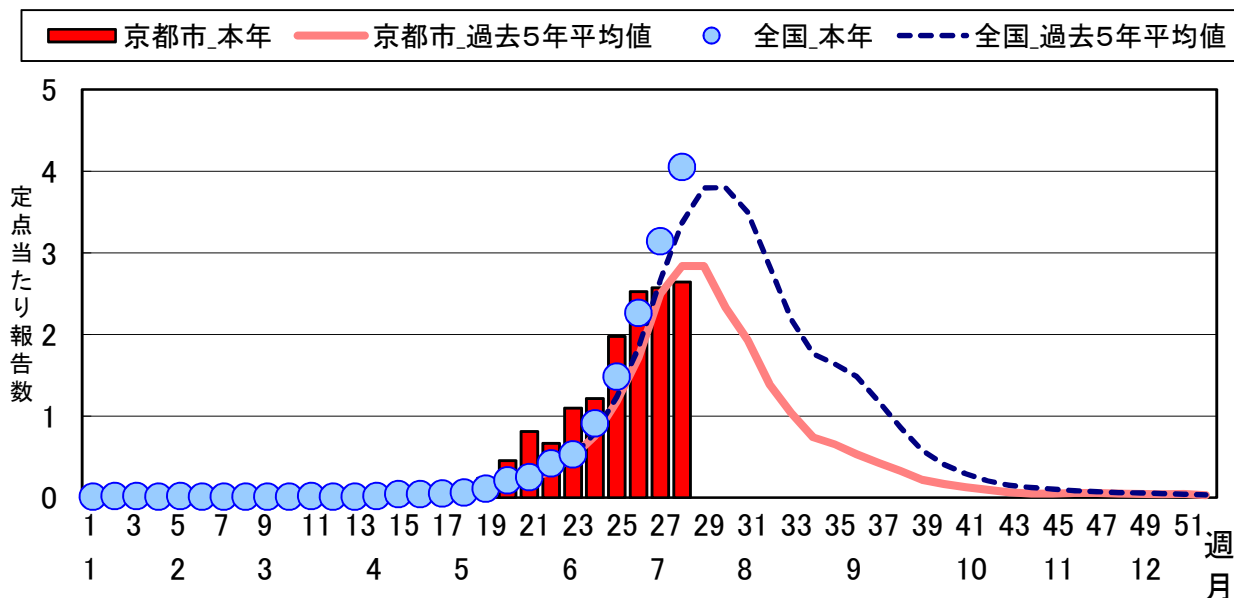


第28週(7月11日～7月17日)トピックス: <ヘルパンギーナ>

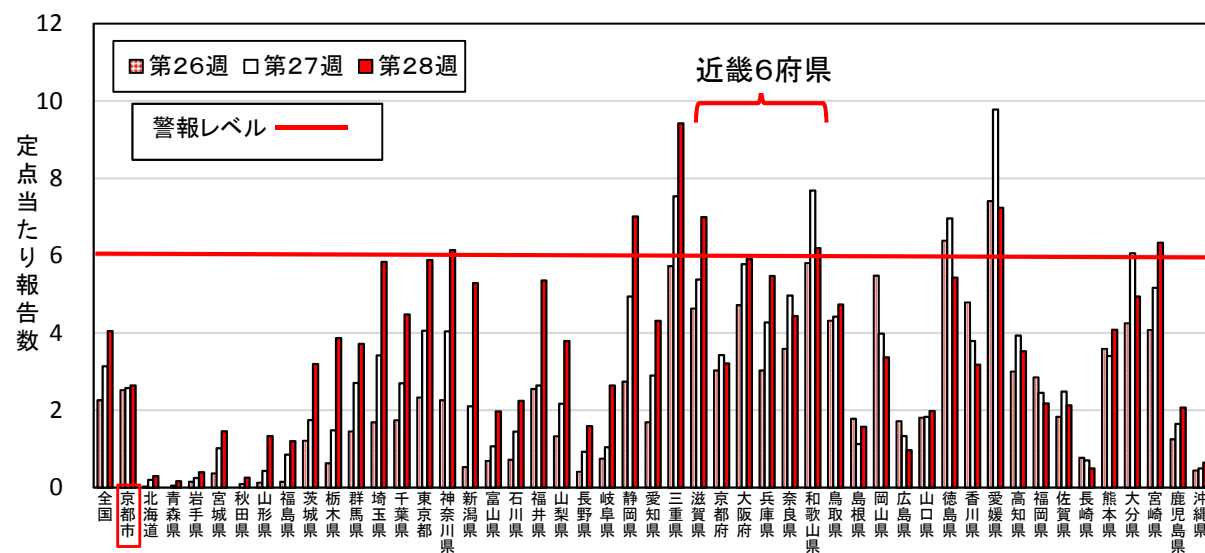
京都市の定点当たり報告数は2.64(111例)となり、第22週からの急速な伸びはやや収まったものの、本年で最も多い報告数となっています(図1)。全国では西日本から東日本へと流行が拡大しており、近畿2県(和歌山県、滋賀県)を含む7県で警報レベル「6」を超えました(図2)。本市の年齢階級別割合では、5歳以下が全体の90%前後を占め、1,2歳が最も多く、合わせて約50%を占めています(図3)。

本疾患は発熱、口腔粘膜に現れる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性感染症です。特異的な治療法はなく、発熱や頭痛に対する対症療法が中心で、通常は1週間以内に治ります。感染経路が接触感染及び飛沫感染であることから、予防としては感染者との密接な接触を避け、うがいや手指の消毒を励行しましょう。

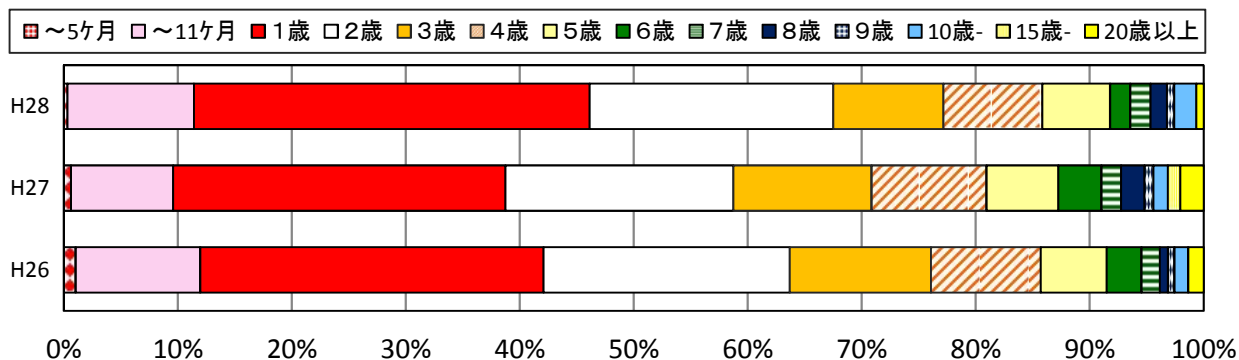
(図1)京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2)都道府県別定点当たり報告数



(図3)京都市の年齢階級別割合



※平成28年は第28週までの報告数に基づく

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第28週

平成28年7月11日～平成28年7月17日

データ入手日:平成28年7月20日

疾病,行政区別報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	4	3	5	-	1	-	3	-	3	-	-	1					
北	-	-	4	3	5	-	1	-	3	-	3	-	-	1					
上京	-	-	1	3	5	1	1	-	1	-	6	1	-	-					
左京	-	-	2	7	45	3	8	2	3	-	4	2	-	1					
中京	-	1	-	1	8	-	2	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	2	21	-	2	-	1	-	-	-	-	-					
山科	-	-	-	11	4	3	13	-	2	-	8	9	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	1	-	-					
南	-	-	2	2	18	-	4	-	-	-	9	1	-	-					
右京	-	-	1	8	49	2	24	-	4	-	18	5	-	3					
伏見	-	-	1	8	56	7	36	4	3	-	45	12	-	-					
西京	-	-	1	14	17	1	5	3	4	-	10	7	-	-					
京都市計	-	1	12	59	228	17	97	9	22	-	111	38	-	5	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	1.00	0.75	1.25	-	0.25	-	0.75	-	0.75	-	-	1.00					
北	-	-	1.00	0.75	1.25	-	0.25	-	0.75	-	0.75	-	-	1.00					
上京	-	-	0.33	1.00	1.67	0.33	0.33	-	0.33	-	2.00	0.33	-	-					
左京	-	-	0.50	1.75	11.25	0.75	2.00	0.50	0.75	-	1.00	0.50	-	1.00					
中京	-	0.33	-	0.33	2.67	-	0.67	-	0.33	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1.00	10.50	-	1.00	-	0.50	-	-	-	-	-					
山科	-	-	-	2.75	1.00	0.75	3.25	-	0.50	-	2.00	2.25	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	1.00	0.50	-	-					
南	-	-	0.67	0.67	6.00	-	1.33	-	-	-	3.00	0.33	-	-					
右京	-	-	0.20	1.60	9.80	0.40	4.80	-	0.80	-	3.60	1.00	-	3.00					
伏見	-	-	0.14	1.14	8.00	1.00	5.14	0.57	0.43	-	6.43	1.71	-	-					
西京	-	-	0.20	2.80	3.40	0.20	1.00	0.60	0.80	-	2.00	1.40	-	-					
京都市計	-	0.02	0.29	1.40	5.43	0.40	2.31	0.21	0.52	-	2.64	0.90	-	0.50	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第28週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年7月11日～平成28年7月17日

データ入手日:平成28年7月20日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	12	-	1	5	1	2	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	59	-	-	2	3	6	12	9	5	8	6	-	6	1	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	228	4	24	42	13	25	19	16	11	11	8	4	19	7	25	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	17	1	-	-	1	2	5	5	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	97	-	9	27	16	13	13	7	4	3	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	9	-	-	1	-	1	1	1	2	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	22	-	6	12	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	111	-	7	34	27	14	9	7	4	-	4	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	38	-	-	-	3	5	8	9	1	4	3	1	1	1	2	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	1	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.29	-	0.02	0.12	0.02	0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	1.40	-	-	0.05	0.07	0.14	0.29	0.21	0.12	0.19	0.14	-	0.14	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	5.43	0.10	0.57	1.00	0.31	0.60	0.45	0.38	0.26	0.26	0.19	0.10	0.45	0.17	0.60	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	0.40	0.02	-	-	0.02	0.05	0.12	0.12	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	2.31	-	0.21	0.64	0.38	0.31	0.31	0.17	0.10	0.07	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.21	-	-	0.02	-	0.02	0.02	0.02	0.05	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.52	-	0.14	0.29	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	2.64	-	0.17	0.81	0.64	0.33	0.21	0.17	0.10	-	0.10	0.05	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.90	-	-	-	0.07	0.12	0.19	0.21	0.02	0.10	0.07	0.02	0.02	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.50	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	0.10	-	-	0.10	0.10	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第28週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年7月20日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	8	1	-	-	1	-
RSウイルス感染症	1	-	1	-	1	1
咽頭結膜熱	16	11	12	11	11	12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	82	69	73	48	59	59
感染性胃腸炎	312	250	251	267	253	228
水痘	18	16	9	23	18	17
手足口病	21	26	34	28	53	97
伝染性紅斑	11	12	15	17	6	9
突発性発しん	15	19	22	22	19	22
百日咳	-	1	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	46	51	83	106	108	111
流行性耳下腺炎	33	32	42	30	35	38
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	3	4	4	3	5
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	565	491	546	556	567	599

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.12	0.01	-	-	0.01	-
RSウイルス感染症	0.02	-	0.02	-	0.02	0.02
咽頭結膜熱	0.38	0.26	0.29	0.26	0.26	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.95	1.64	1.74	1.14	1.40	1.40
感染性胃腸炎	7.43	5.95	5.98	6.36	6.02	5.43
水痘	0.43	0.38	0.21	0.55	0.43	0.40
手足口病	0.50	0.62	0.81	0.67	1.26	2.31
伝染性紅斑	0.26	0.29	0.36	0.40	0.14	0.21
突発性発しん	0.36	0.45	0.52	0.52	0.45	0.52
百日咳	-	0.02	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1.10	1.21	1.98	2.52	2.57	2.64
流行性耳下腺炎	0.79	0.76	1.00	0.71	0.83	0.90
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.30	0.40	0.40	0.30	0.50
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	13.53	11.91	13.30	13.54	13.72	14.64

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。